

日体大魂

日本体育大学
東京都同窓会会報

第23号

平成30年4月1日発行
発行者 東京都同窓会長
高田 幸一

学校法人日本体育大学
理事長 松浪健四郎

遅滞きながら、日体大は今年よりセンター試験に参入した。700名を超える受験生があり、胸を撫で下ろしている。これ

で各予備校の発表する偏差値は一挙に高くなると予想される。体育大とはいえ、普通の大学であり、特殊という印象を世間に与えてきたが、今や5学部を有する総合大学、センター試験に参入する必然性があった。

今年の受験者数は8000人に迫る勢いで、昨年よりも1000名以上増加した。東京才

リンピックの追い風があるだろうが、歴史を積み重ねてきた賜物である。「身体にまつわる文化と科学の総合大学」化が進行し、新興の大学との差別化が受験生に理解されている印象を受ける。人気があれば、受験生が減少する。魅力のある大学にすべく、私たちは努力を怠ってはならないと自戒する。

今年から大学院も体育科学研究科、教育学研究科にくわえ保健医療学研究科が設置され

た。学生総数は7000名を超え、中規模大学の雄となり、あと一歩で大規模大学の仲間入りが可能になりつつある。ただ、

入学者の7割弱が首都圏からであり、全国の大学という存在感が弱まりつつあって、地方入試を6ヶ所で行いながらも

合格者が多くはない。

教職に就く卒業生は、毎年

350名前後が合格している

が、「保健体育」教諭の免許を出す大学は、全国で16

0校、競争の厳しい状況は変わ

らない。OBの協力を得て、

ご指導いただいて好評である

につけ、地域格差がみられる。

国際化に伴い、青年海外協力隊

員(JICA)に合格して海外

経験を経て教員を目指す学生

も増加している。国際化の波に

乗り、時代を先取りしようとす

る日体大生が多くなっている

のは、学生気質に変化があり大

学の国際化策が成功している

からであろうか。

「挨拶ができて礼節にとむ」

「体力があつて健康」「組織を

理解している」「理不尽さに慣

れている」「人間力が優れてい

る」、これらの項目が日体大生

の強味である。一般企業が、日

体大生を欲しがると時代が到来

して、就職希望者は難なく

嬉しい。あらゆるジャンルで卒業生が活躍してこそ、一流大学といえる。

2020年が目前にせまり、

オリンピック・パラリンピック

に日本代表選手を70名輩出

するという計画は進行中であ

る。同時にメダリストやスター

選手の育成も焦眉の急であり、

日体大の存在を世に示す最大

のイベントゆえ、私たちも全力

投球中である。卒業生が母校を

誇り、多くの国民が日体大に興

味を寄せていただけるよう頑

張りたい。日体大関係者だけで

金メダル10個獲得を目標に

している。

少子化と高齢化が急速に進

み、社会の変化はめまぐるしい

が、その波に押しつぶされない

ように、すでに日体大は50の

全国地方自治体と協定を締結

し、交流を密にしている。「若

者に夢を、お年寄りに健康を！」

キャッチフレーズにして協力

中である。健康寿命の延伸が日

学の追隨を許さない地方貢献を行っている。

全国の4割の大学は定員割

れ、3割強の大学は赤字経営で

ある。日体大は盤石の経営状態

にあり、先輩の皆さんに心配を

おかけすることはない。昨年、

北海道網走市に日体大高等支

援学校を開校し、「支援学校教

員免許」も取得できるようにな

った。社会貢献を視野に入れ、

日本の日体大として今後も発

展させていかねばならないと

考える。教員養成の旗印のもと、

有為な人材を育成したいと考

える。



平成29年度

教育支援委員会報告

教育支援委員会委員長

小橋川 和子

日頃は、東京都同窓会の活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、教育支援委員会が発足して7年目を迎えた。委員会の発足の趣旨は、後進の育成である。①教員採用試験の一次対策講座の開催 ②教育実習指導担当の講師である。これらの事業の支援を大学と連携し東京都同窓が推進する。

しかし、日本社会もIT化、AI化の時代を迎え大きく様変わりしつつある。かつて、日体大はほとんどの学生が教職に就いた大学であったが、今では、日本の大学の156校で保健体育科の教員免許取得が可能となった。近年、母校日体大においては6〜7割の学生が、公務員や民間企業に就職している。しかし、教育実習希望者数は毎年1,000名近くである。

これらの現状を踏まえ、教育支援委員会が中心となり学校現場で多くの経験を積まれた先生方の協力を仰ぎ事業を推

進している。

日体大は、長年中・高の免許取得が中心であった。未だスタートしたばかりの小学校での教育実習担当については、困難を極めるところであるが、平成28年(2016年)児童スポーツ学部の一期生が小学校の教諭としてスタートした。

以下事業報告をする。

①東京都同窓会主催の平成29年度教員採用試験一次対策講座(学年自治体を問わず)申し込み者数53名(内4年生38名)一次合格者19名 最終合格者11名・期限付き合格者は6名である。

大学の報告によると、平成29年度の教員採用試験現役合格者は全国で57名である。

②教育実習(東京都)数206名、実習校168校、教育実習指導担当特別教授44名

毎年教育実習がほぼ終了した11月初旬に教育実習指導担当特別教授と大学の教職担当教授・キャリア支援の担当者と反省協議会を実施している。

一昨年度(2016年)より、我々にも児童スポーツ教育学部の小学校での巡回指導が導入された。小学校の巡回指導は、全教科対応のため、ほとんどの担当特別教授が未経験である

ため、事前に大学の担当教授から指導を受けての巡回指導となっている。小学校においては、体育を主として学んできた教諭が求められているが、本学においては体育以外の教科の指導法等について研修を深め学生に指導することが望ましいと痛感しているのは私だけではないと考える。

最後に最近の日体大の入試状況に触れる(2018日体大入試ガイドより)

平成30年度(2018年)より日体大の入学試験も大きく変わった。

5学部(体育・スポーツ文化・スポーツマネジメント、

児童スポーツ教育・保健医療)・9学科(体育・健康・武道教育・スポーツ国際・スポーツマネージメント・スポーツラ

イフマネージメント・児童スポーツ教育・整備医療・救急医療)

日体大において、平成25年度(2013年)に、児童スポーツ教育学部開設により、小学校の免許取得が可能になった。

更に、平成29年度入試より体育学部児童スポーツ教育学部にセンター試験利用入試が導入、体育学部・健康学科は実技試験廃止となった。

平成二十九年度

教育実習巡回指導

反省協議会報告

教育支援委員会委員

山本 収太朗

○日時 平成29年11月4日(土) 13時から15時30分

○場所 日本体育大学

東京・世田谷キャンパス

○同窓会長挨拶 高田幸一

①大学と協力して学生の支援

②若い巡回指導の人材育成

③特別教授指導力向上研修等が必要である。

○大学代表挨拶 後藤彰教授

大学OBの教育実習の巡回指導は学生の力となり、文科省からも評価されている。

東京の小中高及び中学校で218名が教育実習に行っていた。校数は159校。全国では1000名を超える学生が教育実習を行った。東京はその2割を占めている。

○開会のことば 高橋治憲

今年度の教育実習を終えていない学校もあると思います。が、よい反省協議会となるようお願いしたい。

○教育支援委員長からの提案

以下の点についてご意見提案をお願いしたい。

へ指導案について

・都立高校での実習生4名を担当した。指導案は書いていた。保健では、プロジェクトの活用、班別ごとの指導があり、硬式テニスの指導案どおりで、子どもたちもイキイキしていた。

・大学へのお願い 実習の手引きの指導案の様式を現場の先生が見やすい指導案にした方がよい。指導した学生の指導案はよく書いていた。

・研究授業用の指導案は手引きどおりでよいと思う。

・都立高校での実習生を担当した。指導案を事前に書かせた。本時の目標は、実習校の指導教官の指導が必要。

・今回、小学校4年生を担当した。小学校3年生の巡回指導はどうされていますか。

大学回答…3年生までは専任教授が巡回している。

・実習生にテーマを持って指導案作成するよう指導した。

へ事前指導について

・心得、指導内容等について話すが学生は理解しているのか疑問。事前に学生に実習の

手引きを渡して読ませる必要があるのでは。

大学回答…直前指導の前にも指導をしています。1年次教職課程の説明、2年次教育実習とは何かを指導、誓約書を書かせている。3年次の指導も行っている。4月から事前指導という授業がある。

・大学は指導していると思う個々の学生の差がある。足りない部分を補うのが巡回指導員の役目だ。

・巡回指導員の仕事の役割をしっかりと見極めること。大学との連携が大切。

〈大学の窓口との関係〉

・教育実習のあり方が問われている。担当学生が実習途中ドロップアウトしようとした。

大学回答…実習の窓口は教職支援センターです。途中で実習を中断した学生の実習校に伺い謝りました。3月の打ち合わせの折、東京は本間と松平が担当とお伝えしました。

実習中にトラブルがあった場合、教育支援センターに連絡していただくと、担当教授が当該校に伺います。

大学回答…教員にならない学生の実習は、人間性、社会性、専

門性を高め、ステータスを持たせるよう指導します。

〈学生の就職〉

・教員志望者は110名のうち、幼稚園と保育園（10名）フィットネス（10名）

で、40名が一般企業を希望しています。企業に就職し、数年経って教育職に戻ってくる者もいます。

〈要望〉

・巡回指導員の配置は住居を考慮して欲しい。実習校との継続性が大切。

・公立中学の実習は3週間。体育祭練習だけであった。実習期間延長は可能か。

大学回答…実習期間については各区市町村の教育委員会にお願いしている。教育実習の時期は東京都は最高学年と決められています。3年まで授業が杯で入っており物理的に難しいです。

閉会のことば 竹内定雄

44名の同窓の協力を得て219名、159校の巡回指導を終えた。次年度も協力をいただきたい。

公立中学校の現状

杉並区立東原中学校長

渡辺 宏

平成28年4月から東京都オリンピック・パラリンピック教育方針に基づき、都内全公立学校ではオリンピック・パラリンピック教育をスタートし、本校も同様に教育活動を展開している。

この教育は、次代を担う子供たちに必要とされる資質・能力を育むものである。「ボランテニアマインド」、「障害者理解」、「スポーツ志向」、「日本人の自覚と誇り」及び「国際感覚の醸成」は、「人権教育」や「伝統文化の醸成」、および「グローバル感覚の育成」として、学校経営方針の重要な柱であり、全教育活動を通して横断的に展開した内容である。

生徒・教職員にとって「オリ・パラ教育」が身近となるよう、配当された特別な予算を、その目的と有効活用を図るため、計画・執行において都費事務と学校司書との連携を図りながら推進することとした。その結果、生徒・教職員に利用しやすいよう図書室に「オリ・パ

ラコーナー」を設置した。「日々の教育活動としてこれまで実践した内容であり、取り組み方を工夫・改善すればよい。」ことを周知し、新たに特

別な取り組みを教育課程に組み込むものでないことを確認し、現在スムーズな展開が図られている。

平成30年度 日本体育大学東京都同窓会 総会・研修会・懇親会のお知らせ

1. 期 日：平成30年 6月24日（土）
2. 会 場：（総会・研修会） 東京：世田谷キャンパス 5階 2503 大会議室
（懇 親 会） 東京：世田谷キャンパス 1階 Sレストラン
3. 日 程：受 付： 14：30～
研修講座： 15：00～16：00
講 師： 豊田 博 氏 昭和32年3月 日本体育大学卒業
日本バレーボール協会副会長など歴任 千葉大学名誉教授
総 会： 16：15～17：00
懇親会： 17：15～18：30（学内レストラン）
4. 会 費： 5,000円
平成29年・平成30年の卒業生は通信費のみ2,000円
学生は無料
5. その他：お問い合わせは、東京都同窓会ホームページ事務局連絡フォームか、
vzk00103@gmail.com にメールでお願いいたします。

日本体育大学東京都同窓会は若い力を求めています

第2回

ゴルフ研修会に

参加して

竹内 芳子

平成29年も押し迫った12月27日(水)冷たい強風の中、男性22名女性4名の同窓が花咲カントリー倶楽部(大月町)に集まりました。防寒衣に身を包み・集合写真を撮ったのち、開講式。竹内副会長の挨拶、大瀧副会長の競技上の諸注意のあと皆さん元気よくスタートしました。

私がゴルフを始めたのは二人の娘たちの子育てが一段落した25年ほど前になります。

主人が退職後一緒にゴルフが楽しめたらとのこと、当時世田谷区で募集していたゴルフ教室に通い始めたのがスタートでした。初ラウンドは1年後で、コースに出るようになって一番印象に残っているラウンドは平成18年全国東急女子ゴルフ大会に東京都代表で、宮古島大会に参加できたことです。ゴルフの楽しさが解りかけたころ、パターイップス病「精神的な原因で動作に支障をき

たす、パターが思うように動作できない」にかかり5〜6年苦しみ何度も止めようと思いましたが、今でもイップス病を引きずりながらゴルフに出かけるのはやはり好きなんだと思います。年齢とともに飛距離が落ちた半面ゴルフの楽しさは増すばかりです。ボールが飛ばない、寄らない、入らないばかりですが、「絶対的に諦めない」をモットーに続けてきました。今ではゴルフの深みにどつぷりはまっています。

今回同窓会の研修会に参加させていただき、初めてお目にかかる方々とラウンドしました。が早々に冗談を言い合い随分昔から知り合っていたような雰囲気になるのに時間は要りませんでした。緊張することなくプレーが出来たのは、やはり同窓だという心が通い合う何かがあることを痛感しました。お互い随所で風の方向や残りの距離を聞いたり、パットラインを読み合ったりとまさに研修会を存分に楽しめました。パートナーの吉崎義人さん、佐野純夫さんに恵まれ、助けられて実力よりも運の強さを感じた予想外の優勝でした。



今回は女性が4名の参加でしたが今後もっと多くの参加に期待したいと思っています。中でも牛島三重子さんのスコアは男子と同じのベストグロスにはとっても感動しました。

若さあふれる方々とのふれ合いで元気を頂いて帰りました。卒業以来何年も日体大から遠ざかっておりましたがゴルフ研修会に参加することが出来てとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。傘寿を迎えようとしておりますが、ゴルフは無理をしないでもう少し続けたいと思っています。

編集後記

3月には、1,000名を超える卒業生が巣立っていきました。

就職四季報によると、教員採用数の大学別ランキングで、国立の教育系大学9校と、小学校教員養成の私立大が上位を占める中、日本体育大学は第13位にランクされています。日体大教職支援センターによると、今年度の公立学校の現役学生の採用選考合格数は70名を超えています。最終集計ができていない卒業生の公立学校採用数と、私立学校の現役学生、卒業生の採用数を加えると、多くの日体生が4月から教育現場で活躍することになります。これまでの勉強や経験を生かして、公務員や民間企業など教員以外のいろいろな仕事を選んだ学生を含め、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

ホームページをご覧いただくには、アドレスバー(ネットの画面の左上にあります)に

www.nittai-doso-tokyo.jimdo.com と入力してください。

ご要望など、東京都同窓会ホームページ事務局連絡フォームか、

vzk00103@gmail.com に直接メールをお送りください。

東京都同窓会 広報委員会委員長 角杉美恵子